

上下水道部の方針書

部 名	上下水道部
部長名	柿崎 政人

1. 部の使命(ありたい姿)

安全な水道水を安定供給するとともに、生活排水の適正な処理により公共用水域の水質保全に努め、健全な水循環を構築する。	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-5:安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・給水人口・排水処理人口の減少などによる収益の低下 ・効率的な運営を図るために必要な施設の統廃合や規模縮小などの合理化 ・経年劣化による運転効率の低下や破損事故の発生を抑制するための計画的な設備更新 ・環境の変化による水源の不安定化への対応 ・気候変動による大雨を想定した雨水排水対策
--

3. 今年度の『スローガン』

安全で快適な水環境を次の世代へ

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業の財務基盤の強化および経営の安定化を進めます。 ・施設の統廃合や遠隔監視の強化により、維持管理の効率化を図ります。 ・近隣市町村との連携による給水および生活排水処理の安定化を推進します。 ・雨水排水対策による内水面氾濫を抑制します。
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	経営の効率化と安定化
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業計画と経営戦略の見直し ・上下水道事業のDX化およびスマート検針導入の検証 ・災害発生時の事業継続のための取り組み(庁舎移転・代替施設・初動マニュアルの再検討)
(2)	実現したい成果	水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場統廃合による施設管理運営の効率化及び浄水監視の強化 ・広域連携の推進(西和賀町との共同利用、広域化推進座談会の活発化) ・漏水調査による漏水箇所の早期発見・早期復旧
(3)	実現したい成果	生活排水処理施設の再編・強化と都市下水路の機能保全
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理区統廃合などによる効率化 ・農業集落排水機能強化事業による保全と強化 ・各種雨水排水対策による内水面氾濫の抑制

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1) 経営の効率化と安定化

- ・水道事業計画・経営戦略の改定へ向け作業中
事業計画：物価高騰を受け、最低限必要な事業を見極め、幾度となく計画を練り直し
経営戦略：いかいして料金値上げ幅を抑えるか知恵を出し合っている
- ・スマート検針導入を見据えた具体的な課題の抽出
- ・災害発生時の事業継続のため、水道庁舎移転に関する過去の検討内容を再検証

(2) 水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携

- ・浄水場統廃合による施設管理運営の効率化及び浄水監視の強化
雄物川浄水場整備事業 配水池整備工事に着手
- ・広域連携の推進 西和賀町との共同利用
基本協定 7月24日締結 連絡管布設工事 9月5日第1工区着手 8月29日第2工区着手

(3) 生活排水処理施設の再編・強化と都市下水路の機能保全

- ・汚水処理区統廃合などによる効率化
相野々処理区・横手処理区接続管路工事完了 10月1日流入開始
大森・十日町・本郷処理区統合事業最終年度 機械設備・電気設備・場内整備など工事中
- ・農業集落排水機能強化事業による保全と強化
川西処理区：機械設備工事・電気設備工事・中継ポンプ改修工事発注
上溝処理区：実施設計業務着手
- ・各種雨水排水対策による内水面氾濫の抑制
十文字都市下水路の短期計画最終工区発注

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1) 経営の効率化と安定化

- ・水道事業計画・経営戦略
計画の方向性 政策会議(承認)⇒市議会(説明)
計画・経営戦略(案) 政策会議(承認)⇒経営協議会・市議会(意見)⇒パブリックコメント(意見)⇒新事業計画

(2) 水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携

- ・新雄物川浄水場整備事業
全体事業費の抑制 試算額を再精査 必要仕様を確保しつつも規模縮小 事業費抑制を図る
- ・広域化推進座談会開催 西和賀町との共同利用事例を紹介 隣接市町村との連携強化

(3) 生活排水処理施設の再編・強化と都市下水路の機能保全

- ・汚水処理区統廃合などによる効率化
稼働を停止した山内浄化センター清掃業務の推進と利活用の検討
大森・十日町・本郷処理区統合事業の完了⇒新浄化センターの運転開始
- ・農業集落排水機能強化事業による保全と強化
川西処理区 機械設備工事・電気設備工事・中継ポンプ改修工事の完成と翌年度事業の発注準備
- ・各種雨水排水対策による内水面氾濫の抑制
十文字都市下水路の短期計画最終工区の完成(以降、当面は状態観察)

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 経営の効率化と安定化

- ・水道メータースマート検針の実証実験の実施、導入を見据えた課題を抽出
- ・水道事業計画と一体化させた経営戦略の策定(改定)
【課題】上下水道事業継続のための庁舎移転に関する市長部局との調整
水道スマート検針の導入のためのスケジュール案及び方針の決定
水道料金等徴収業務委託の次期契約のための要求水準書の作成
経営戦略に沿った的確な事業経営と水道料金改定に向けた料金体系の検討

(2) 水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携

- ・新雄物川浄水場整備事業
全体事業費の抑制 デッドスペースをなくすなどで規模縮小し計画事業費の抑制を図った
配水池の基礎杭工事が3月に完成 次年度より本体工事に着手する
- ・広域連携の推進 西和賀町との共同利用
基本協定 7月24日締結 連絡管布設工事 第1工区9月上旬着手(繰越) 第2工区8月下旬着手-11月下旬完成

(3) 生活排水処理施設の再編・強化と都市下水路の機能保全

- ・汚水処理区統廃合などによる効率化
稼働を停止した山内浄化センター清掃業務の推進と利活用の検討
大森・十日町・本郷処理区統合事業の完了⇒新浄水場水槽部の水密性を確保し、早期供用開始を目指す
- ・農業集落排水事業(強靱化型)による川西地区・上溝地区の機能保全と強化
川西地区は、マンホールポンプ更新工事は完成
浄化センター更新工事は機械設備・電気設備工事を発注し繰越工事として完成を目指す
上溝地区は、「実施計画業務」を完成させ次年度の工事発注準備を進める
- ・各種雨水排水対策による内水面氾濫の抑制
十文字都市下水路の短期計画最終工区の完成(以降、当面は状態観察)